

## 道場訓（解説）

- 一、空手を真剣に修行することによって心と身体を鍛え磨き、何事にも動じない強い意志と技を身につける。
- 一、武道として空手の道を深く追求し、どんな状況でも機会を逃さず臨機応変に対応できる力を養う。そして、相手の心を理解する思いやりや優しさと痛みを感じとれる豊かな心を身につける。
- 一、自分自身は華美に飾ることなく、真面目で力強く逞しく空手の修行をすることによって、己の弱い心に打ち勝つ強い心を養う。
- 一、礼儀をしっかりと身につけ、目上の人を敬い、人前で空手の力を誇示するような乱暴な行動をしてはいけない。
- 一、人知の及ばぬ世界を重んじ、神仏を敬い、親に孝行し、つねに控えめな態度を忘れてはならない。
- 一、文武両道に努め知性・教養を身につけるとともに体力を向上させ、大事な場面での確な判断と行動が取れるようにする
- 一、武道として空手の道は一生かけて追い求めるものであり、生涯修行の中で空手の極意を掴んでいくものである。極意は体験の中にあり、よって体験を恐るべからず。